

2026 年 8 月 2 日 聖霊降臨節 第 1 1 主日礼拝次第  
平和聖日・全体礼拝

前 奏 (黙 想)  
招きの言葉 申命記10章 12～13 節 (旧約 297 頁)  
讃 美 歌 372 (幾千万の母たちの)  
主の祈り <A> (讃美歌93－5)  
詩 編 交 読 詩94編 8～15 節 (交読詩編 108 頁)  
聖 書 ヘブライ人への手紙12章 3～13 節 (新約417頁)  
祈 禱  
讃 美 歌 528 (あなたの道を)  
説 教 「萎えた手、衰えた膝」 田中雅弘牧師  
讃 美 歌 81 (主の食卓を囲み) 1、2 節  
聖 餐  
讃 美 歌 81 (主の食卓を囲み) 3 節  
信 仰 告 白 使徒信条<A> (讃美歌93－4)  
献 金  
讃 美 歌 88 (こころに愛を)  
派 遣 祝 福  
後 奏 (黙 想)  
報 告

主の祈り A (讃美歌21 93－5－A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。 アーメン。

聖 書 ヘブライ人への手紙12章 3～13 節

3 あなたがたが、氣力を失い疲れ果ててしまわないように、御自分に対する罪人たちのこのような反抗を忍耐された方のことを、よく考えなさい。  
4 あなたがたはまだ、罪と戦って血を流すまで抵抗したことはありません。  
5 また、子供たちに対するようにあなたがたに話されている次の勧告を忘れていません。  
「わが子よ、主の鍛錬を軽んじてはいけない。  
主から懲らしめられても、  
力を落としてはいけない。  
6 なぜなら、主は愛する者を鍛え、  
子として受け入れる者を皆、  
鞭打たれるからである。」  
7 あなたがたは、これを鍛錬として忍耐しなさい。神は、あなたがたを子として取り扱っておられます。いったい、父から鍛えられない子があるでしょうか。8 もしだれもが受ける鍛錬を受けていないとすれば、それこそ、あなたがたは庶子であって、実の子ではありません。9 更にまた、わたしたちには、鍛えてくれる肉の父があり、その父を尊敬していました。それなら、なおさら、霊の父に服従して生きるのが当然ではないでしょうか。10 肉の父はしばらくの間、自分の思うままに鍛えてくれましたが、霊の父はわたしたちの益となるように、御自分の神聖にあずからせる目的でわたしたちを鍛えられるのです。11 およそ鍛錬というものは、当座は喜ばしいものではなく、悲しいものと思われるのですが、後になるとそれで鍛え上げられた人々に、義という平和に満ちた実を結ばせるのです。  
12 だから、萎えた手と弱くなったひざをまっすぐにしなさい。13 また、足の不自由な人が踏み外すことなく、むしろいやされるように、自分の足でまっすぐな道を歩きなさい。

讃美歌372番

- 1 幾千万の母たちの 幾千万の息子らが  
互いに恐れ、憎みあい、  
ただわけもなく殺しあう、  
戦いの真昼、太陽もなまぐさく
- 2 風吹きぬける焼け跡に、幾千万の母たちは、  
帰らぬ子らの足音を  
いつもむなしく待っていた。  
戦いの真昼、まっかな陽が沈む
- 3 むなしく裂けた天の下、  
焼けてただれた樫の木が、  
それでも青い芽をふいて、  
神のめぐみをあかした、  
戦いはとだえ、夜明けは近づいた。
- 4 幾千万の母と子の ころろ合わせいまいのる。  
自分の中の敵だけを  
おそれるものとなるように、  
戦いよ、終われ、太陽もよみがえれ。

讃美歌528番

- 1 あなたの道を 主にまかせて  
思いわずらい 主にゆだねよ。  
雲と風にも 道を示す  
神は歩みを 導かれる。
- 2 どんな時にも 道を備え、  
あなたのわざを 神は祝す。  
いつもあなたの 先に進み  
光を照らし 導かれる。
- 3 悪が支配し おどす時も  
先立つ神は 戦われる。  
目標めざす あなたのため  
なすべき努め 与えられる。
- 4 走るべき道を 走り終えて  
栄光のみ国へ 帰るその日、  
勝利の冠 与えられて  
喜びの歌 共に歌おう。

讃美歌81番

- 1 主の食卓を囲み、  
いのちのパンをいただき、  
救いのさかずきを飲み、  
主にあってわれらはひとつ。  
マラナ・タ、マラナ・タ、  
主のみ国がきますように。
- 2 主の十字架をおもい、  
主の復活をたたえ、  
主のみ国を待ち望み、  
主にあってわれらは生きる。
- 3 主の呼びかけにこたえ、  
主のみことばに従い、  
愛のいぶきに満たされ、  
主にあってわれらは歩む。

讃美歌88番

心に愛を 豊かにみだし  
日ごとのわざに つかわしたまえ